

令和7年度第1回和歌山県スポーツ推進審議会 説明資料

【委員の変更について】

前回の審議会以降、三井委員が退任された。本審議会の委員には令和7年4月1日時点で18名の皆様に就任いただいている。

【議題】

なし

【報告事項】

（1）和歌山県スポーツ推進計画の進捗状況について

本審議会で審議いただき、策定したスポーツ推進計画において、各政策目標に従い定められた指標の目標値について、令和6年度時点の進捗状況を報告するもの。

「1. 学校と地域における子供のスポーツ環境の充実」については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国順位を指標としており、小学校5年生男子は22位と前回と比べ順位が低下したものの、小学校5年生女子は15位、中学校2年生男子は24位、女子は20位と上昇した。

「2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」については、成人の週1回以上のスポーツ実施率を指標としており、53.5%と前回と比べ1.0ポイント低下した。

「3. 世界の舞台で活躍できる競技者の発掘・育成・強化」については、大会に応じた指標を設定している。オリンピック・パラリンピックにおける本県関係者の出場者数については、9名となり、目標値としていた15名以上には届かなかったものの、フェンシング競技女子フルーレ団体において東晟良選手が銅メダルを獲得した。国民体育大会男女総合成績については、47位となり、20年ぶりの最下位となった。全国高等学校総合体育大会での入賞種目数については、32種目が入賞したものの、前回と比べ減少した。

「4. 全国大会・国際大会の開催及び国際競技大会等に係るキャンプの誘致による県民のスポーツに対する意識や関心の向上と県内各地域の活性化」については、アジア・オセアニアビーチアルティメット選手権大会日本代表合宿やパリ 2024 パラリンピック競技大会に出場する陸上競技（投擲パート）日本代表事前合宿など6件が行われたものの、前回と比べ減少した。

（2）わた SHIGA 輝く国スポ 2025 第79回国民スポーツ大会について

今年度の国民スポーツ大会の会期等を報告するもの。

今年度の国民スポーツ大会は、滋賀県を中心に、「わた SHIGA 輝く国スポ」を大会愛称、「湖国の感動 未来へつなぐ」を大会スローガンとして開催される。9月6日から会期前競技が順次実施され、本会期は9月28日から10月8日までの11日間で実施される予定

【資料 2-1】となっている。

当該大会の出場権をかけた近畿ブロック大会【資料 2-2】が奈良県を中心に6月18日から開催されており、出場各選手は郷土の誇りを胸に、全力でプレーしている。

昨年度の「SAGA2024 第78回国民スポーツ大会」の本県総合成績は、残念ながら20年ぶりに最下位（47位）であり、本県では男女総合成績30位台を目標に捲土重来のごとく、スポーツ王国和歌山の復活のため、各種競技力向上推進に鋭意取組んでいる。

【わた SHIGA 輝く国スポ 2025 第79回国民スポーツ大会 本県注目チーム、選手】

◆ローイング競技

少年女子ダブルスカル 村上葉留・吉村美紅（県立和歌山北高校）

※村上葉留選手は令和7年度U-19日本代表

◆ボウリング競技

成年女子チーム（4人制）

※和歌山県成年女子チームは令和6年度全日本選手権6人チーム戦で優勝

◆馬術競技

成年男子 藤谷喜晴（ライディングクラブグリーンオアシス）

※「SAGA2024 第78回国民スポーツ大会」成年男子六段障害飛越で優勝

◆水泳競技

競泳 少年女子A50m自由形 榎本裕月（県立粉河高校）

※「SAGA2024 第78回国民スポーツ大会」少年女子A50m自由形で2位

オープンウォータースイミング（OWS） 南出大伸（木下グループ）

※「SAGA2024 第78回国民スポーツ大会」OWSで優勝

（3）第25回和歌山県障害者スポーツ大会について

障害者スポーツの振興を図るため、県が実施している取り組みのうち和歌山県障害者スポーツ大会の概要等を報告するもの。

今年開催している第25回和歌山県障害者スポーツ大会については、和歌山県と県障害者スポーツ協会が主催し、5月18日（日）に紀三井寺公園陸上競技場にて総合開会式を実施した。

競技については、陸上競技を始め7競技を5月18日（日）から9月28日（日）にかけて実施する予定となっており、参加人数は、7競技で延べ705名となっている。

この大会については、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねるものとなっている。

（4）第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」について

今年度の全国障害者スポーツ大会の概要等を報告するもの。

今年度の全国障害者スポーツ大会は、国民スポーツ大会と同様に滋賀県において「わた SHIGA 輝く障スポ」を大会愛称、「湖国の感動 未来へつなぐ」を大会スローガンとして、10月25日（土）から27日（月）までの3日間で実施される予定となっている。

和歌山県の選手団として個人競技34名、団体競技にはバレーボール男子とフットソフトボールの2競技が出場予定となっている。

(5) ワールドマスタースゲームズ 2027 関西について

ワールドマスタースゲームズ 2027 関西の概要等を報告するもの。

ワールドマスタースゲームズは令和 9 年に関西広域で開催されることとなっており、本県では陸上、ダンススポーツ、セーリング、射撃、バレーボールの 5 競技 7 種目を実施することとしている。

今年度からスポーツ課内にワールドマスタースゲームズ推進室を新設し、実行委員会総会など開催に向けた準備を進めている。

(6) 令和 7 年度全国高等学校総合体育大会について

今年度の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の概要を報告するもの。

令和 7 年度のインターハイ「開け未来の扉 中国総体 2025」が、「輝け君の青春 刻め努力の軌跡」のスローガンのもと、広島県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、北海道、福島県とともに、本県においてヨット競技大会が開催される。

7 月 24 日に広島県立総合体育館で総合開会式が開催され、8 月 20 日まで熱戦が繰り上げられる。

本県で開催されるヨット競技は、固定開催 11 年目となる。

(7) 令和 8 年度全国高等学校総合体育大会（和歌山県開催競技）について

令和 8 年度全国高等学校総合体育大会の概要等を報告するもの。

令和 8 年度の全国高等学校総合体育大会は、「夢へ躍進 青春の夏 近畿総体 2026」を大会愛称、「つなげ みんなの想い 輝け 近畿の舞台で」をスローガンとして、滋賀県が主管となり、近畿 2 府 4 県を中心に開催される。

本県では相撲、柔道、レスリング、弓道、バドミントン、ヨット、少林寺拳法の 7 競技を実施することとしている。

近畿総体開催に伴い、今年度から教育庁健康体育課内に「高校総体推進室」を新設し、5 月 22 日には令和 8 年度全国高等学校総合体育大会和歌山県実行委員会を設立するなど開催に向けた準備を進めている。